（事例）R8.6.24大雨　治水施設整備による効果（一級河川筑後川水系金丸川・池町川）

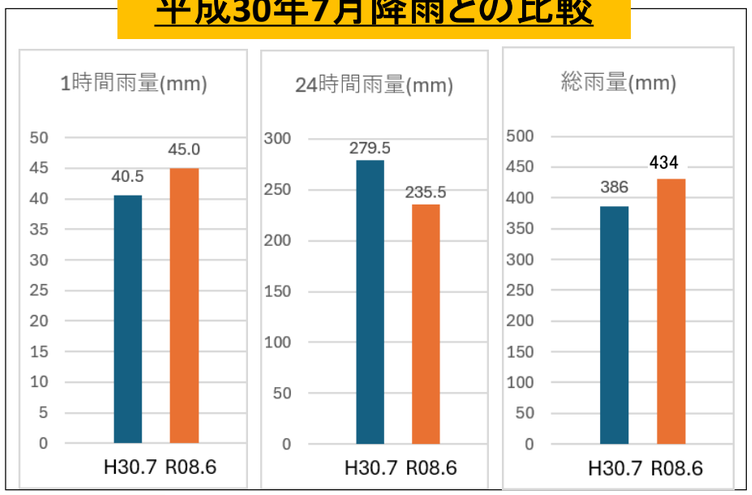
福岡県 Fukuoka Prefecture

資料１－２

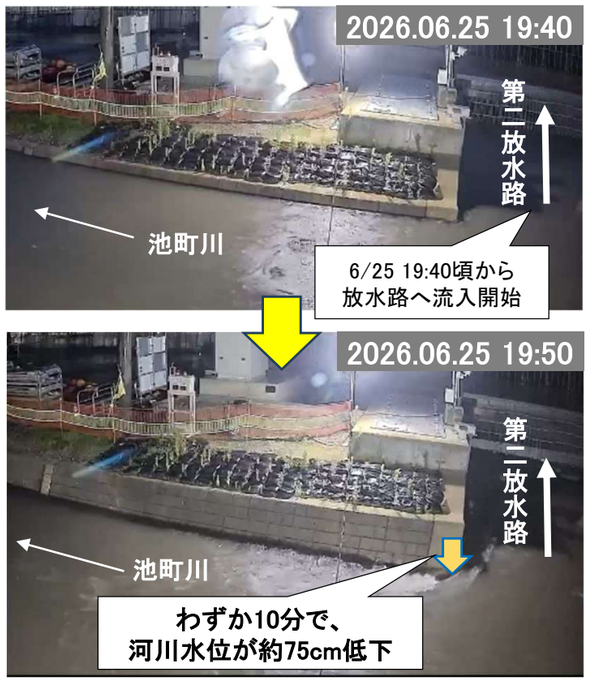
◆「令和8年6月24日からの大雨」において、久留米市では特に令和8年6月25日夕方頃から大雨となり、一級河川筑後川水系金丸川・池町川流域において、**1時間最大雨量45.0mm 、24時間最大雨量235.5mm、総雨量434mm**を記録。（気象庁久留米観測所）
◆金丸川・池町川では**「浸水対策重点地域緊急事業」「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」**などで**地下調節池、地下放水路、排水機場等を整備し、令和8年6月からすべての施設の運用を開始したところ。**
◆**これら施設の整備効果により、浸水被害防止に貢献。（池町川第二放水路流入地点において約75cmの水位低下を確認）**

■事業箇所図

平成30年7月降雨との比較

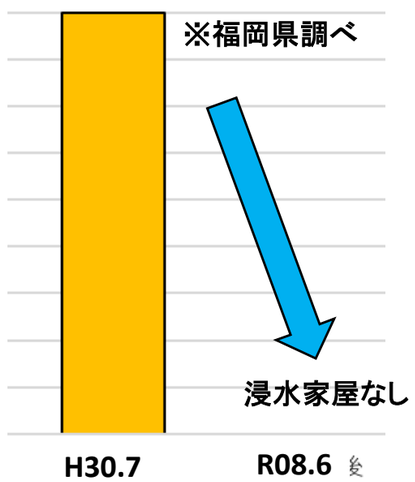


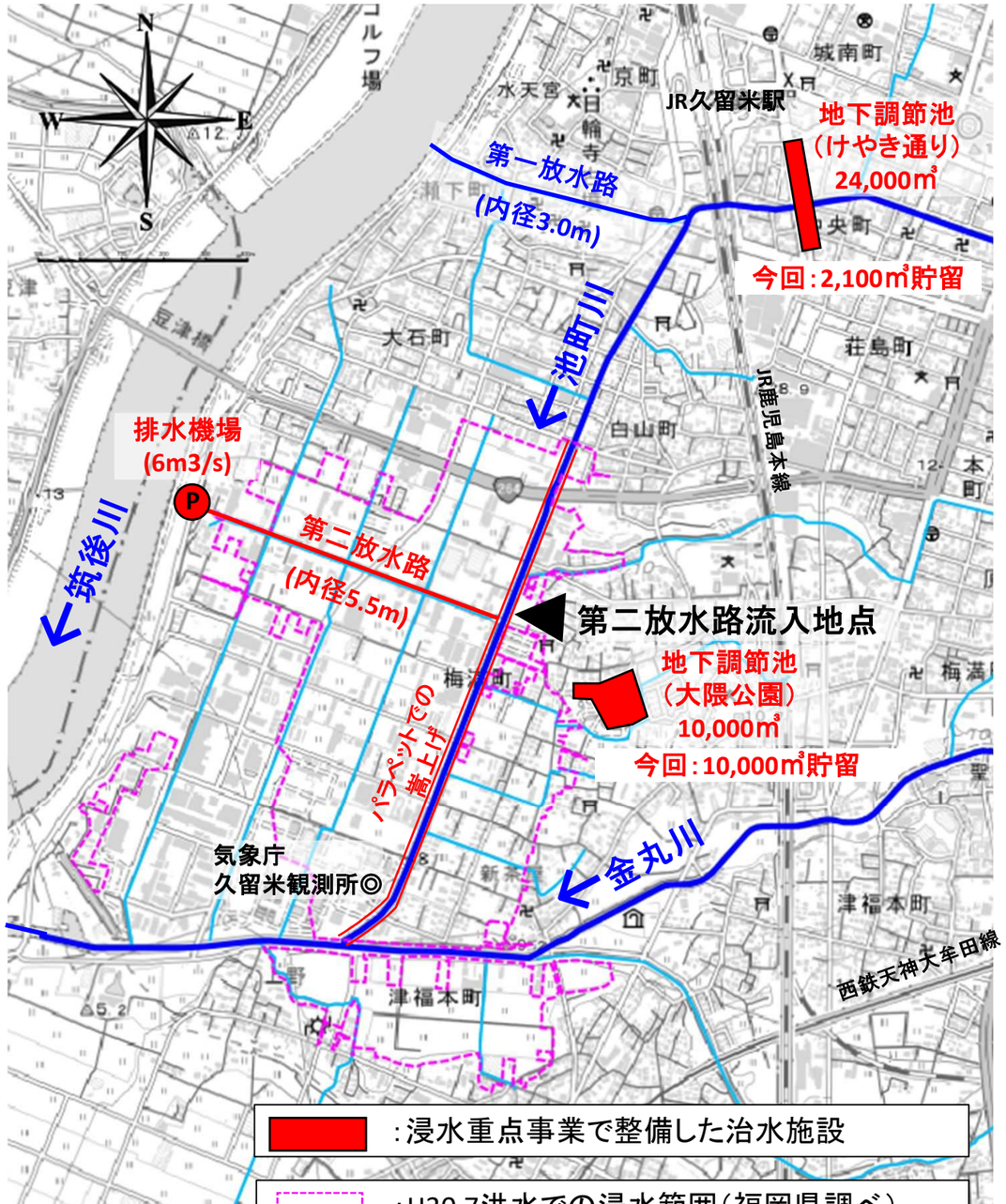
第二放水路流入地点での効果



浸水被害の軽減効果

H30浸水戸数 981戸
（床上369戸、床下612戸）
浸水面積：88.9ha





※：本資料の数値は今後の調査結果等で変わる可能性があります。